

稲刈りが始まりました。研修先では2ha以上の圃場で1ヶ月以上の時間をかけて丁寧に稲刈りを行います。



こちらはグレンタンク式のコンバインです。現代の農業はほぼ全てこのタイプで行われており、刈り取りから脱穀、そして粃を直接コンテナまで運ぶことができる優れたものです。雑草や泥が混ざらないように丁寧に作業を行います。



収穫した粃はコンテナから乾燥機へ運びます。乾燥機で粃を適正な水分量にし、粃摺り機、選別機を通して玄米になります。



こちらは伝統的な手法である天日干しです。コンバインと比べて遥かに手間がかかりますが、圃場に稲が並ぶ姿は圧巻です。11月も引き続き稲刈りがあるので、繁忙期はまだまだ続きます。